

1/16 (日) 平成23年菊池市消防団出初式

菊池市消防団の出初式が、菊池市多目的グラウンドでありました。岩木憲文団長を先頭に、副団長、分団長の順で消防積載車による行進が行われ、福村市長がその勇姿を観閲しました。

坂本竜治副団長の総指揮の下、参加した約1,400人の団員が力強く入場行進して開会行事が行われた後、4列に整列して服装などを点検する「通常点検」が行われました。今年度から15分団になった分団は、A～Cの3パートに分かれて競技を行いました。

今年一番の冷え込みとなった影響で、予定されていた幼年消防クラブによる通常点検などは中止となりました。しかし、七城小学校、七城中学校の少年消防クラブによる通常点検では、子どもたちが元気いっばいに練習の成果を披露していました。

通常点検競技の各パートごとの結果は、次のとおりです。

**Aパート優勝** 第7分団、**Bパート優勝** 第13分団、**Cパート優勝** 第9分団



①団員たちの服装などを点検する岩木団長、②七城小学校少年消防クラブ、③消防団のマークが入った分団旗、④冷たい水を我慢しての一斉放水、⑤七城中学校少年消防クラブ、⑥日本消防協会から贈られた消防団最高の栄誉である特別表彰「まとい」、⑦団員の背中に「菊池」の文字、⑧ラッパ隊の通常点検

12/24 (金) スリランカへ文房具を寄付

スリランカへ送る文房具の贈呈式が泗水中学校で行われました。生徒を代表して、奉仕委員会の梁池秀美委員長が、「大切に、長く使ってもらいたいです。よろしくお願いします」とあいさつ。全校生徒で集めたえんぴつや消しゴムなどを、菊池国際交流協会 茅嶋副会長へ手渡しました。

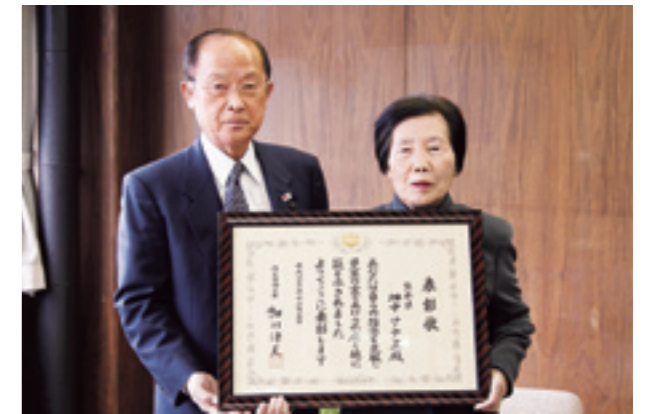
市内各中学校で集められた文房具は、菊池国際交流協会を通じてスリランカへ送られます。



梁池委員長から茅嶋副会長へ文房具が手渡されました

12/22 (水) 障害者自立更生等厚生労働大臣表彰

自らその障がい克服され、現在自立更生して障がい者の模範となっている人に対して贈られる平成22年度障害者自立更生等厚生労働大臣表彰が決定しました。菊池市からは、菊池市視覚障害者福祉協会副会長の畑中サナエさんが受賞され、福村市長から表彰状などの伝達式が行われました。畑中さんは、「身に余る賞を与えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。菊池市という地域で与えられた賞であると思っています」と喜びを語られました。



受賞された畑中さん(右)

12/24 (金) 歩いて歩いて30年オーバー、七城ナイトハイク

七城小・中学校区の児童・生徒を対象に、菊池市青年団七城支部がナイトハイクを実施しました。30年以上前から行われているもので、七城地区では冬休み前の伝統行事となっています。

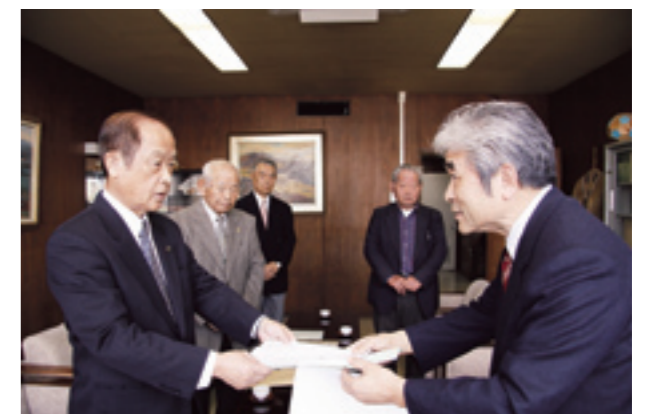
菊池溪谷を出発し、約22km先の七城公民館を目指しました。最初は元気な参加者でしたが、最後になると「きつい」や「さむい」の連発。しかし、完歩すると達成感から満足そうな顔でした。



ちょっと一休み、先は長いなあ

12/24 (金) 文教きくちの再建を目指して提言書提出

旧菊池市の教育委員長経験者など4人が、「文教菊池の再興を願って」と題した教育提言書を福村市長へ提出しました。「教育委員会という組織がある以上は、学力のことなどに踏み込んでいかなければならない。国際社会に通用するような子どもをしっかりと育てていくべきだ。家庭教育と学校教育の両立があってこそ人間形成ができる」と説明し、市内3高校の協調や識者たちと懇談した内容などを含めた提言書を手渡しました。



提言書を手渡す牧 俊郎さん(右)